

AXIS Q1686-DLE Radar-Video Fusion Camera 24時間365日、交通を監視し、危険な車両を特定

AXIS Q1686-DLEは、60 GHzのレーダーを使用して24時間365日、時速200 kmまでの車両速度を監視します。誤報率を最小限に抑えながら、速度と進行方向を正確に追跡することができます。46° ~9° の水平視野角を備えたバリフォーカル望遠レンズと交通監視に最適化された赤外線照明キットを搭載し、24時間365日、違反車両を確実に識別することができます。また、AXIS Q1686-DLEはオープンプラットフォーム上に構築されているため、ナンバープレート認識ソフトウェアと組み合わせて使用することで、速度と進行方向を特定のナンバープレートに関連付けることができます。これにより、エッジ (カメラ自体) で車両を確実に識別することができます。さらに、設置と設定が簡単です。

- > 車速とナンバープレートをエッジで統合
- > レーダーによる速度と方向の追跡
- > 最大200 km/hの速度の車両を監視
- > 24時間365日、信頼性の高いナンバープレートキャプチャーと認識
- > サードパーティ製ソフトウェア向けオープンプラットフォーム



AXIS Q1686-DLE Radar-Video Fusion Camera

カメラ

イメージセンサー
1/1.8"プログレッシブスキャンRGB CMOS
ピクセルサイズ2.9 μm

レンズ
バリフォーカル、9~50 mm、F1.5
水平画角: 46° ~9°
垂直視野: 26° ~5°
最短フォーカス距離: 3 m (9.8 ft)
オートフォーカス、i-CSレンズ、IR補正、リモート
ズーム/フォーカス、P-Irisコントロール

デイナイト
自動IRカットフィルター
ハイブリットIRフィルター

最低照度
4メガピクセル、25/30フレーム/秒 (Forensic WDR
とLightfinder 2.0有効時)
カラー: 0.05ルクス (50 IRE、F1.5)
白黒: 0.01ルクス (50 IRE、F1.5)
4メガピクセル、50/60フレーム/秒 (Lightfinder 2.0
有効時)
カラー: 0.1ルクス (50 IRE、F1.5)
白黒: 0.02ルクス (50 IRE、F1.5)
赤外線照明点灯時は0ルクス

シャッター速度
1/47500秒~1秒

ナンバープレートキャプチャー

検知範囲
昼夜ともに最大50 m

IRイルミネーター
電力効率が高く長寿命の850 nm赤外線LEDを搭載し、
照射強度と角度を調整できるOptimizedIR。照射距離
50 m (164 ft) 以上 (撮影シーンによる)。

車両速度
オプションのエッジ分析機能で最大200 km/h (
125 mph)
オプションのサーバーベースの分析機能で200 km/h (
125 mph) 以上

撮影範囲
オプションのエッジまたはサーバーベースの分析機能
で、最大2車線
前後のナンバープレートキャプチャーに対応

設置
センター取り付けまたはサイド取り付け
設置高さ: 最大12 m
道路からの横方向距離: 最大7 m (23 ft)¹
カメラがチルトおよびロール角を自動で検知
組み込みの交通カメラ設置アシスタントが、設置高
さ、車両までの距離、および予測される車両速度に基
づいてビデオ設定を最適化します

レーダー

プロファイル
道路の監視
エリア監視

センサー
FMCW (周波数変調連続波)

物体のデータ
物体の種類 (クラス: 人、車両、不明)、範囲、方
向、速度

周波数
エリア監視プロファイルチャンネル1: 61.25-61.48
GHz
エリア監視プロファイルチャンネル2: 61.02-61.25
GHz
道路監視プロファイルチャンネル1: 61.25-61.43
GHz
道路監視プロファイルチャンネル2: 61.05-61.23
GHz

RF送信電力
<100 mW (EIRP)
ライセンス不要。無害な電波。

推奨取り付け高
3.5~12 m¹

推奨取り付け角度
最大18°¹

検知範囲
道路監視プロファイル: 車両の検知時で最大150 m
(492 ft)²
エリア監視プロファイル: 5~60 m³ (人間の検知時)
5~90 m (車両の検知時)³

- 取り付けに関する推奨事項については、axis.comでユーザーマニュアルをご覧ください。
- 高さ7 m、チルト15°で取り付け測定。レーダービデオフュージョンカメラの設置高さ、チルト、位置は検知範囲に影響します。詳細については、axis.comでユーザーマニュアルを参照してください。
- 高さ5 m、チルト25°で取り付け測定。詳細については、axis.comのユーザーマニュアルを参照してください。

ラジアル速度
道路監視プロファイル: 最大200 km/h
エリア監視プロファイル: 最大55 km/h

検知フィールド
水平方向: 95°

速度精度
+/- 2 km/h
OIML R91:1990のセクション7.3のすべての要件を満たします⁴

距離精度
道路監視プロファイル: 0.8 m
エリア監視プロファイル: 0.5 m

角度精度
1°

空間的区別
3 m⁵

データリフレッシュレート
10 Hz

撮影範囲
道路監視プロファイル: 製品のユーザーマニュアルをご覧ください (axis.com)⁶
エリア監視プロファイル: 2,700 m² (人の検知時)
6,100 m² (車両の検知時)

共存ゾーン
周波数バンド: 60 GHz
半径: 350 m
推奨レーダー数: 最大8台

レーダーコントロール
複数の検知ゾーン、クロスライン検知 (1本または2本のラインを使用)、除外ゾーン (一時的な物体、物体の速度、物体のタイプに対するフィルター、設定可能なトリガー継続時間を使用)
レーダー送信のオン/オフ、グリッド不透明度、ゾーン不透明度、カラースキーム、軌跡の寿命、検知感度、揺らめいている物体フィルター、小物体フィルター、周期的チャンネル、基準マップキャリブレーション (マップのスケール、パン、ズームのオプション付き)

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-8

メモリー
RAM 2,048 MB、フラッシュ 8,192 MB

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
16:9: 2688x1512~160x90
16:10: 1280x800~160x100
4:3: 2016x1512~160x120

フレームレート
WDR: すべての解像度で最大25/30 フレーム/秒 (50/60 Hz)
WDRオフ: すべての解像度で最大50/60 フレーム/秒 (50/60 Hz)

ビデオストリーミング
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム⁷
Axis Zipstreamテクノロジー (H.264 / H.265)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

S/N比
55 dB超

WDR
Forensic WDR: 最大120 dB (撮影シーンによる)

ノイズリダクション
空間的フィルター (2Dノイズリダクション)
時間的フィルター (3Dノイズリダクション)

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイトナイト閾値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、露出ゾーン、デフォッグ、圧縮、ダイナミックテキストおよび画像オーバーレイ、ポリゴンライバシーマスク、ターゲット開口
シーンプロファイル: フォレンジック、ビビッド、トラフィックオーバービュー、ナンバープレート

- METAS試験報告書 No.258-44378を入手するには、販売担当者にお問い合わせください。
- 移動物体との最小距離。
- 道路監視のレーダー照射距離は、装置の取り付け高さや車両の速度などの要因によって異なります。詳細については、ユーザーマニュアルをご覧ください。
- ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

画像処理

Axis Zipstreamテクノロジー、Forensic WDR、Lightfinder 2.0、OptimizedIR

音声

音声機能

自動ゲインコントロール
スピーカーのペアリング

音声ストリーミング

双方向 (全二重)
ノイズリダクション

音声入力

10バンドグラフィックイコライザー
外部バランスまたはアンバランスマイクロフォン入力、オプションの5Vマイクロフォン電源
デジタル入力、12Vリングパワー (オプション)
バランスライン入力またはアンバランスライン入力
スピーカーペアリング経由の入力

音声出力

ライン出力
スピーカーペアリング経由の出力

音声エンコーディング

24bit LPCM、AAC-LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM
8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz
設定可能なビットレート

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS⁸、HTTP/2、TLS⁸、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP⁸、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンク・ローカルアドレス (ZeroConf)、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX[®]、メタデータ、Axis Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)

ワンクリックによるクラウド接続

ONVIF[®] Profile G、ONVIF[®] Profile M、ONVIF[®] Profile S、ONVIF[®] Profile T (仕様についてはonvif.orgを参照)

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール

プライバシーマスク
レーダーピックアップインピクチャー
拡張オーバーレイ (レーダー)
メディアクリップ

エッジツーエッジ

スピーカーのペアリング
PTZカメラペアリング

イベント条件

アプリケーション層
音声：音声クリップ再生
装置状態：動作温度範囲を上回ったとき/下回ったとき/範囲内、ケーシング開放、IPアドレスブロック、IPアドレス削除、新規IPアドレス、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、リングパワー過電流保護、システムの準備完了、レーダーデータ障害、干渉、データなし、いらずら
デジタル音声入力ステータス
エッジストレージ：録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O：デジタル入力、手動トリガー、仮想入力
MQTT：サブスクライブ
レーダーの動き
スケジュールおよび繰り返し：スケジュール
ビデオ：平均ビットレート低下、デナイトモード、いらずら

イベントアクション

音声クリップ：再生、停止
デナイトモード
デフォッグモード
I/O：I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間にI/Oを切り替え
LED：ステータスLEDの点滅
MQTT：パブリッシュ
通知：HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
オーバーレイ (テキスト)
レーダー：レーダーオートトラッキング、レーダー検知
録画：SDカード、ネットワーク共有
SNMPトラップ：送信、ルールがアクティブな間に送信
画像またはビデオクリップのアップロード：FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール
WDRモード

設置支援機能内蔵

交通カメラ設置アシスタント、ピクセルカウンター、リモートズームおよびフォーカス、レベルグリッド、レベリングアシスタント

8. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

分析機能

アプリケーション

同梱

AXIS Object Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Image Health Analytics、AXIS Video Motion Detection、AXIS Speed Monitor⁹、AXIS Radar Integration for Microbus⁹、いたずら警告、音声検知、向き設定の補助

サポート

AXIS License Plate Verifier、AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)

AXIS Object Analytics

物体クラス: 人間、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク、その他)

シナリオ: ライン横断、物体の対象範囲への侵入、対象範囲内の滞在時間、クロスラインカウント、対象範囲内の占有状態

最大シナリオ数は10本まで

主な機能: 検知感度、物体速度

その他の機能: 軌跡、色分けされた境界ボックスおよびテーブルで視覚化されたトリガー物体対象範囲と除外範囲

奥行きの設定

ONVIF動体アラームイベント

AXIS Image Health Analytics

Detection settings (検知設定):

いたずら: ブロックされた画像、リダイレクトされた画像

画像劣化: ぼやけた画像、露出不足の画像

その他の特徴: 感度、検証期間

AXIS Scene Metadata

物体クラス: 人、顔、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート

物体の属性: 車両の色、上/下の衣服の色、信頼性、位置、速度、距離、方向、緯度と経度、ナンバープレート情報¹⁰

認証

製品のマーキング

CSA、UL/cUL、CE、RCM

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 24、CISPR 35、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES-3(B)/NMB-3(B)

米国: FCC Part 15 Subpart B Class B

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、IEC/EN/UL 62368-1 ed.3、IEC/EN 62471 risk group 2、IS 13252

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)、ISO 21207 (Method B)

無線

EN 305550、EN 301489-1、EN 301489-3、EN 62311、FCC Part 15 Subpart C

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護

ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム

TPM 2.0 (CC EAL4+、FIPS 140-2 Level 2)、セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)¹¹、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS¹¹、TLS v1.2/v1.3¹¹、Network Time Security (NTS)、X.509証明書 PKI、ホストベースのファイアウォール

9. ダウンロード可能

10. AXIS License Plate Verifierでのみ利用可能

11. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

文書化

AXIS OSハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP66、NEMA 4X、およびIK10の各規格に準拠
アルミニウムケーシング、黒のアンチグレアコーティングを施したウェザーシールド (ASA)

カラー：白 NCS S 1002-B

再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、axis.com/warranty-implication-when-repaintingにアクセスしてください。

本製品は再塗装できます。

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at準拠 タイプ 2 Class 4

通常10 W、最大25.5 W

10~28 V DC、標準9.5 W、最大25.5 W

コネクタ

ネットワーク: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE

I/O:2x状態監視あり/2x監視なし設定可能入力/デジタル出力用のターミナルブロック (12 V DC出力、最大負荷50 mA)

音声:3.5 mmマイク/ライン入力、3.5 mmライン出力

シリアル通信: RS485/RS422、2個、2ポジション、全二重、ターミナルブロック

電源:DC入力ターミナルブロック

IRイルミネーター

電力効率が高く長寿命の850 nm赤外線LEDを搭載した、OptimizedIR

照射距離50 m以上 (撮影シーンによる)

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応

SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)

NAS (Network Attached Storage) への録画

推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

動作温度

温度:-40°C ~ 60°C (-40°F ~ 140°F)

起動温度:-25°C (-13°F)

NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度:74°C

湿度:10~100% RH (結露可)

風速 (持続的): 60 m/秒 (134 mph)¹²

保管条件

温度:-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)

湿度:5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

有効投影面積 (EPA) :0.063m² (0.67ft²)

重量

5100 g (11.2 lb)

パッケージ内容

カメラ、ウェザーシールド、AXIS TQ1003-E Wall Mount、インストールガイド、resistorx® T20ツール、ターミナルブロックコネクタ、コネクタガード、ケーブルガスカート、所有者認証キー

オプションアクセサリ

AXIS T8415 Wireless Installation Tool

AXIS Surveillance Card

AXIS Bird Control Spike

AXIS P13 Weathershield Extension A

その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-q1686-dle#accessoriesにアクセスしてください。

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリセレクター、レンズカリキュレーター

axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-q1686-dle#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠

(EC) No 1907/2006に準拠したREACH。 SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照してください。

12. 示されている値は、実際の風洞テストの結果に基づいています。テストラボでの風速制限が60 m/秒 (135 mph) であるため、ユニット静止時の最大風速は不明です。抗力計算では、有効投影面積 (EPA) を使用してください。

材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率:5% (バイオ系)

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility

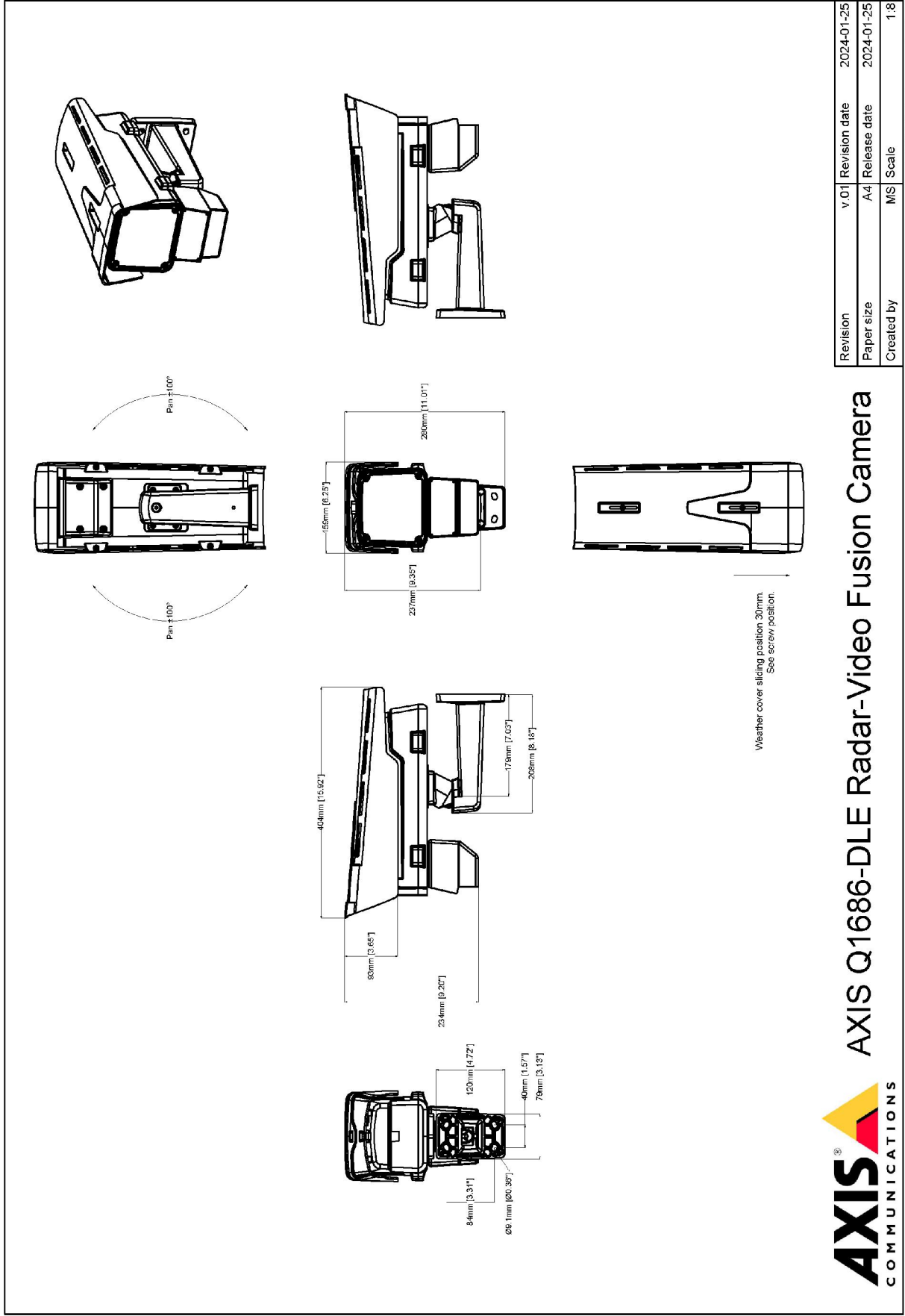
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

検知、監視、認識、識別 (DORI)

	DORIの定義	距離 (広角)	距離 (望遠)
検知	25 px/m (8 px/ft)	130.2 m	664.4 m
観察	63ピクセル/m	51.6 m	263.6 m
認識	125 px/m (38 px/ft)	26 m	132.9 m
識別	250 px/m (76 px/ft)	13 m	66.5 m

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。

寸法図面



AXIS Q1686-DLE Radar-Video Fusion Camera

www.axis.com

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアブートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。